

第54号  
2023年5月

# 高梁市議会だより

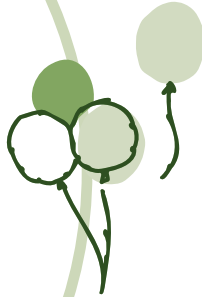
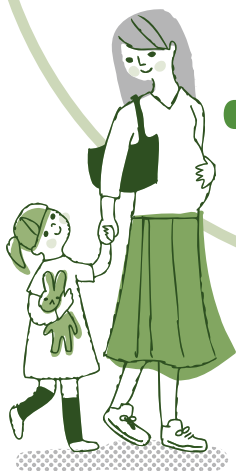
## 高梁で子育て 令和5年度子育て施策



## 大型公共事業で激論!!



# 高梁で子育て



市民生活委員会では、多くの子育て予算について審議を行いました。子育て応援にかかわり、放課後児童健全育成事業の設備や運営の基準、児童福祉法の改正における

る自動車運行についての安全の確保や運営基準、業務継続計画の策定について質疑しました。子育て施策については、議員間でも必要との認識が強く、スムーズな採決になりました。

## 令和5年度予算 にみる子育て施策

### 未就学児



#### ※ おむつ支援事業 651万円

保育所等で紙おむつを支給する。  
(1、2歳の未就園児におむつ代相当額支援を含む)



### 保育士の 確保や処遇改善も

総務文教委員会では、子育て世代のテレワーク支援による保育園の留学事業や、高梁・美咲・吉備中央の3市町連携の子供スタンプラリー、認定こども園に併設される子育て支援センター・子育てカフェについても言及し、十分な子育てや教育が行われること、保育士の確保と処遇改善も併せて質疑しました。

### 妊娠出産



#### ※ 子育て応援チケット事業 60万円

出産後から利用できる子育てサービスの利用券（産後ケア、ファミリーサポート一時預かり）

#### ※ 出産子育て応援金事業 1800万円

妊娠届け出後 5万円 出生届け出後 10万円  
(うち5万円は市独自のポイント)

#### ※ 妊活サポート助成事業・不育症対策支援事業 180万円

妊娠出産支援、不妊治療に補助金

#### ※ 母子保健健康診査事業 2291万円

妊婦や乳児検診、妊婦の初回産科受診費用の助成（1人1万円）



# 大学・就職

## ※ 魅力ある大学づくり支援事業 1億円

順正学園が実施する事業に支援

## ※ 学園文化都市づくり事業 354万円

## ※ 医師・看護師奨学金事業 960万円

将来、医師・看護師として市内の医療機関において勤務しようとする学生に対して奨学金を貸付



「子育てするなら高梁市！」のスローガンのもと令和5年度の子育て関連予算のラインアップを紹介します。

高梁市では、18歳までの医療費の無料化に県内でもいち早く取り組み、その他にも子どもを預かるサービスや子育て世帯対象の住宅取得助成、不妊不育治療の補助を実施サポートしてきました。

# 高等学校

## ※ 高校魅力化事業 3130万円

広報活動費、部活動支援、地域みらい留学



## 子どもを産み育てやすい 高梁市をめざして

子育てと少子化対策は日  
本全体の課題です。  
令和5年4月には「こども  
も家庭庁」が発足しました。  
「異次元の少子化対策」を政  
府が表明しています。令和  
3年の日本全体の合計特殊  
出生率は1・30です。高梁  
市の現状を見てみますと令  
和4年に出生した子どもは  
89人となっています。

地域全体で子育てにやさ  
しいまちづくりと持続的な  
家族支援が必要であると考  
えます。  
子育てに悩んでおられる  
ご家族のみなさん、高梁市  
公式ホームページをご参照  
いただき支援に結び付けて  
いただければと考えます。

# 小・中学校

## ※ 医療的ケア支援事業 402万円

医療的ケアが必要な児童に対応するた  
め、看護師を派遣

## ※ 地域部活動事業 207万円

休日の部活動の段階的な地域移行への地  
域人材確保費用負担

## ※ 学級編制弾力化事業 337万円

市独自の学級編制実施、市費で常勤講師  
の配置（小学校30人以下、中学校35人  
以下）



有漢義務教育学校  
高梁認定こども園

# 大型公共事業で 大紛糾!!

新消防庁舎

令和5年3月6日から27日までの22日間、令和5年第1回3月定例会が開催され、市長からは議案52件が提出され、議案は全て可決しました。また、追加で人権擁護委員の諮問1件が提出され、適任としました。加えて、議会運営委員会から乙議案として高梁市議会の個人情報保護に関する議案1件が提出され、可決しました。

令和5年度は、令和3年度にスタートした高梁市総合計画前期基本計画の折り返し年度となります。

本年度予算は、総合計画に掲げた「健康都市たかはし」の実現に向けて、「人口減少対策」「防災力の向上」「未来革新技術の活用」に基づく取り組みを引き続き進めていくとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、原油をはじめとしたエネルギー・原材料の物価高騰に対する施策、行政手続きや行政システムにおけるデジタル化の推進施策、そして高梁市が宣言した「ベビーファースト宣言」「ゼロカーボンシティ宣言」を実現するための施策に予算が配分されています。

本市では、平成30年7月豪雨災害に伴い減少した基金

残高が依然として低水準のままで、合併特例措置の終了に伴う普通交付税の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響や人口減少等により市税等の減収が見込まれるなど、依然として厳しい財政見通しとなっています。

3月定例会では、3つの大型建設事業が含まれる令和5年度予算について、将来に負担を先送りすることに關して激しい議論が行われました。新消防庁舎、有漢義務教育学校、高梁認定こども園は防災・救急・教育・子育てという高梁市の課題に直結する施設です。議員個々の考えが分かれ、紛糾した定例会になりました。



有漢義務教育学校建設予定地



新消防庁舎建設予定地



# 総務文教委員会 で附帯決議



総務文教委員会では、特に「新消防庁舎の移転」認定こども園の建設」について質疑が集中しました。

消防庁舎移転では物価高騰による建設費の高騰や、ZEB化、庁舎規模や訓練スペースなどの縮小や、見直しについて質疑が行われました。

執行部からは「消防庁舎の設計は無駄を省いた最低限とした。建設費用は資材の高騰等により上昇するが、合併特例債の適用期限内での完成を重視した」との答弁がありました。移転先の用地は当初買収することとされていましたが、約4分の1が賃貸借になったことが予算説明会まで明らかにされなかったこと、賃貸借料が30年を越えて発生することが問題視され紛糾しました。

執行部からは「用地買収がでず、賃貸借になったことは、あまり好ましいものではないが、法令に違反しているものではない。報告が遅れて申し訳ない。今後十分説明をしながら進める」と答弁がありました。

また認定こども園建設については予算規模が増しており、規模や定員、事業計画をコンパクト化できないか等が質疑されました。

執行部からは「基本設計の段階からは、1.6倍の予算計上となったが、子育て支援センターは要望もあり確保したい。面積の縮小や資材の変更等も含め検討し、できるだけ予算の範囲でやりたい」との答弁がありました。

討論には4人が立ち、うち2人の議員が予算案に反対の立場

から「大型建設事業は説明不足であり、増大した予算の見直しを求める」と討論しました。また2人の議員は賛成の立場から「大型建設事業は説明不足や将来不安もあるが、事業の圧縮

を含め努力し予算執行を望む」と討論しました。  
あわせて賛成議員から「令和5年度高梁市一般会計予算」に対する附帯決議が提出され、全員一致で可決しました。

## 議案第38号「令和5年度高梁市一般会計予算」 に対する附帯決議

本予算中、次の事業の予算執行に当たっては、下記の点に十分留意し、適切な措置を講じること。

### 記

- 1 新消防庁舎施設整備事業については、機能が低下しないよう配慮した上で、事業費の圧縮が図られるように努めること。
- 2 高梁認定こども園（仮称）施設整備事業については、適正な規模にして、保育及び教育の質が低下しないよう配慮した上で、事業費の圧縮が図られるように努めること。
- 3 有漢義務教育学校（仮称）施設整備事業については、事業費の圧縮が図られるように努めること。
- 4 上記各事業の進捗状況や変更事項については、適宜、市民や議会に情報を提供し、十分な説明を行うこと。

以上、決議する。

令和5年3月17日

総務文教委員会



高梁認定こども園建設予定地進入路

## 観光施策で議論

産業経済委員会では観光と指定管理に関する予算に質疑が集中しました。

新たに整備される一棟貸しの宿泊施設について吹屋観光の中核になっていく施設だと思

うが「現状の宿泊客数や売り上げを見ても、十分ポテンシャルを引き出せていない」

「もう少し収入を上げて雇用を生み出せるように市と指定管理者と一緒に努力されるよう要望する」といった意見や

「観光について市の役割は誘

客のみで、後は民間事業者にお任せという形になっている

と思われる。民間事業者の育成も含め市の施策として考え

ていくべきではないか」といった意見がありました。

道路新設事業の予算では、

用地買収についての質疑の中で地権者には誠意を持って買

収に臨み、予定していたルートの変更などがないように努

めて欲しいとの意見も出されました。

ました。

## 川上診療所が成羽病院附属化に

市民生活委員会では本会

議の議案質疑も踏まえ、いず

れの議案についても慎重審査の上、全ての議案について全

員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

個々の議案については、「高

梁市コミュニティ施設条例の一部を改正する条例」による

領家集会所の廃止について状況の説明を求める質疑があ

り、利用者の減少と地域による管理の負担軽減が理由であるとの説明がありました。

さらに「令和4年度高梁市一般会計補正予算」のうち地

域振興費の減額について委員より説明を求め、コロナ禍等

による各まちづくり事業の中止、縮小に伴うものとの説明

がありました。地域振興基金について引き続き説明が求め

られ基金の現状が説明されま

した。

「令和5年度高梁市一般会

計予算」のうち地域振興事業補助金が減額されてきている

ことについて、説明が求められました。予算不足が生じた

場合は補正予算で対応する考

えで、予算額に関しては今後の地域局の在り方等も含め、

検討の課題と考えるとの回答がありました。

そのほか「令和5年度高梁

市国民健康保険成羽病院事業会計予算」の審査では川上診

療所の成羽病院附属化に伴う

今後の在り方について質疑があり、施設運営は指定管理者

が行い、財務に関しては病院事業会計となる。今後診療所

等の全市の見直しも考える必要性を感じているとの答弁が

ありました。



千枚屋吹ステイ家町

## 3月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

| 議案番号   | 件名             | 金尾 | 新倉 | 平松 | 伊藤 | 森上 | 森 | 石井 | 三村 | 石部 | 宮田好 | 小林 | 川上修 | 倉野 | 川上博 | 宮田公 | 大月 |
|--------|----------------|----|----|----|----|----|---|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|
| 議案第38号 | 令和5年度高梁市一般会計予算 | ●  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○ | ●  | ○  | ●  | ○   | ○  | ○   | ○  | ○   | ○   | ○  |

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。



反対討論

石井 聡美 議員

会派「新風の会」として、一般会計予算案に反対する。

予算に含まれる、高梁認定こども園、新消防庁舎、有漢義務教育学校の建設費は、計画当初には約35億円だったが、資材や人件費の高騰で約77億円に膨れ上がった。市民から待望される必要な施設であり、有利な合併特例債を使うためには、期限までに完成させなくてはいけないことは理解できる。

厳しい財政状況が劇的に改善される目途がない中、どうしても今造らなくてはならないのか。将来世代に安易に負担を押し付けるのは不安が残る。

また新消防庁舎の敷地約4分の1が借地であることが新たに判明した。議会は正しい情報なしには正しい判断はできない。建設場所や建物が適正規模なのか等議論が尽くされておらず反対する。

反対討論

石部 誠 議員

一般会計予算案について反対する。

3件の大型公共事業の建設費が、物価高騰や労働者不足により約35億円から約77億円に高騰した。消防署移転については土地購入が前提であったが賃貸借部分が生じている。賃貸借料の支払いが続くことは後世に負担を残す。倍に増えた建設費は見直しを考えるべきである。

また、行革による市民サービスの低下がうかがわれる反面、一部企業や団体に事業委託され、優先的に予算組みされるなど、問題が散見される。

市の進める指定管理者制度は監視体制の弱体化や情報公開が欠落する。働く方が低賃金に追い込まれ地域経済を低迷させると考え反対する。

国保会計は基金積み立てよりも、国保税の引き下げをすべき。留学生の国保税の不納欠損問題は早急に解決すべき。

賛成討論

小林 重樹 議員

会派「高梁政志会」として、上程された全ての議案に賛成する。しかし2点については執行部に熟考を要望する。

森林環境譲与税について、この税は人材育成や担い手確保、木材利用の促進や普及など、森林の整備促進に充てることとされている。使用目的の明確化と併せ、市民の理解を得ることを大切にして、執行すべきである。

予算に計上された3件の大型プロジェクトは、総務文教委員会でも熱のこもった議論が行われ、附帯決議をもって可決された。法的な制約はないが、非常に重要な決議である。この予算や事業の執行は、議会に対して十分な説明や協議を果たし進めるべき。行政と議会は車の両輪であり、どちらに不具合が起きても運営執行はなされないことを強く申し上げる。

政治倫理条例について

現在、高梁市議会の政治倫理に関する規定としては、高梁市議会基本条例第15条に「議員は、市民全体の代表者として、その倫理性を常に自覚し、良心と責任感を持って、議員の品位を保持し、識見を養うように努めなければならない。」との規定があるのみです。議員の政治倫理に関する事案や、政治不信を招くような事案が生じた場合には、議会運営委員会での都度協議していかなくてはなりません。他方、岡山県内では本市議会と岡山市議会を除く、全ての市議会が政治倫理条例等を制定しており、政治倫理の基準や政治倫理審査会の設置及び運営方法について規定しています。

昨年、本市で市民の政治不信を招くような事案が生じたことも一つのきっかけとして、今後政治倫理条例の制定について検討していくこととなりました。

なお、政治倫理条例制定に至るまでに生じた案件については、議会運営委員会において対応を協議し、場合によっては本会議での審議を求めることとなりました。



## 議会 ニュース



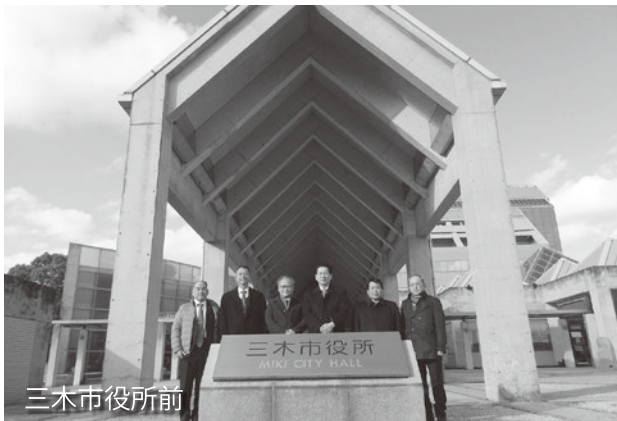
### 総務文教委員会

#### 三木市・相生市を視察

2月8～9日

兵庫県三木市では、「DXの取り組み」と「デジタル窓口」について視察しました。利用者、市民の立場に寄り添って、庁舎内での滞留時間をいかに短縮し、負担軽減を図れるか工夫されていました。本市においても、転入・転出を始め、幅広い分野でできることから早急に各種申請手続のデジタル化を行うべきと感じました。

次に兵庫県相生市では、「あいおい暮らしやすい11の鍵」と「学校給食の無償化」について視察しました。子育て世代をターゲットに、市内外へのPR



をしつかり展開されていました。ベビーファースト宣言をした本市としても各種施策の内容について今一度周知徹底を図り、市内外での認知度を向上させていくことが急務であると考えます。

### 産業経済委員会

#### 彦根市・草津市を視察

2月13～14日

滋賀県彦根市及び草津市の管外行政視察を実施しました。

彦根市では「ひこにゃん」を全面的に打ち出した観光戦略と彦根城登城者をいかに城下町へ還流させるかなどについて視察研修を行いました。交通の便が良く年間30万人の登城者を数える彦根城でも宿泊客の獲得と城下町への観光客の誘導が大きな課題であり、宿泊施設の充実に苦慮しているようです。本市においては古民家を再生して宿泊施策の充実を図り、猫城主「さんじゅーろー」についても、ふるさと納税の品目に加える取り組みなどのヒントを頂いた視察になりました。

草津市では草津川付け替え工事によって生まれた跡地の整備を視察しました。高梁川では現在、堆積土砂の撤去、河原の

川上修一議員が  
岡山地方裁判所から  
罰金50万円の判決を  
言い渡されたことについて

令和5年3月28日、本市議会の川上修一議員は、銃刀法違反罪などに問われた裁判において、岡山地方裁判所から罰金50万円の判決を言い渡されました。市民全体の代表者たる議員がこのような判決を受けたことは、市民からの信頼を失墜させ本市議会の名誉と品位を著しく損なうものであり誠に遺憾であります。本市議会としては、今回の事件を大変重く受け止め、信頼回復と政治倫理の確立に努めていくことをお誓いするとともに、今後取るべき対応を協議してまいります。皆様には、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

高梁市議会議長 石田芳生



拡幅工事などが行われていま  
す。草津川の例をそのまま高梁  
川には当てはめませんが、こ  
れからしゅんせつ土砂の活用に  
より、新たな土地が生まれてく  
れば、宅地や公園、または工業  
用地として活用するのか、判断  
する時は必ず来ると思われま  
す。「草津川跡地整備事業」の視  
察では河川の跡地を公園として  
利用するにあたっての市民の参  
画方法、公園の指定管理の在り  
方についても説明を受け、学び  
の多い視察になりました。



草津川跡地の公園整備

#### 市民生活委員会

### 三好市・高知市を視察

2月6～7日

徳島県三好市では「移住・

定住促進の取り組みについて」

視察を行いました。三好市は本

市とよく似た環境です。人口は

23927人で、本市と同様に

過疎化が進行しています。新た

な担い手の確保を目指し、さま

ざまな人材誘致策を講じていま

す。移住定住ではお試し住宅4

棟を提供し移住体験が可能です

す。さらに空き家バンクや地域

交流施設「真鍋屋」を移住相談

窓口としており、一定の効果を

上げています。



彦根城

高知市においては「飼い主の  
いない猫対策について」視察を  
行いました。高知市は四国では  
最初に中核都市に移行しまし  
た。飼い猫の不妊手術費用の補  
助、さらに補助対象を野良猫に  
も拡大して、補助額を増額。  
現在は野良猫のみを対象として  
います。生活環境被害を減らす  
ため地域猫活動の助成事業も開  
始されました。「野良猫対策」  
と「地域環境問題」の2つの面  
から野良猫の問題を捉え問題解  
決に取り組んでいます。令和3  
年度には野良猫の数が15%に激  
減する効果を挙げています。



高知市での研修の様子

#### 議員研修会

### 行財政改革の 取り組みを学ぶ

令和5年2月3日委員会室  
にて高梁市議会議員研修会を行  
いました。

平成30年3月に策定した「高  
梁市行財政改革プラン」は将来  
の人口減少を見据えた行財政基  
盤を確立させるために、行政運  
営改革、財政構造改革、行政  
サービス改革を実施していくも  
のです。

今回は総務部理財課より「高  
梁市行財政改革プラン」の中か  
ら以下の3点について説明を受  
けました。

- ・行政評価制度の確立・実施に  
ついて（市民サービスを供給す  
るための事業点検）
- ・公共施設の見直しについて（公  
共施設の今後の方向性、統合、  
譲渡、廃止を含めて）
- ・定員（職員）管理の適正化につ  
いて（人口、面積を含めての  
適正な職員数）

# 一般質問 **ココ** を聞きました！

森上昌生

【代表質問】

- ・市長の政治姿勢について
- ・大型プロジェクトについて
- ・観光施策について

宮田公人

【代表質問】

- ・学校施設の適正配置について
- ・行財政改革における簡素で効率的な組織運営と人員配置について
- ・高梁国際ホテルについて
- ・市長の姿勢運営方針について

川上博司

- ・デジタル化の推進について
- ・歯の健康について

平松久幸

- ・ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会について
- ・公共工事の発注方法について
- ・DXの推進について
- ・県立高校の魅力化について

金尾恭士

- ・高梁市の大型プロジェクトについて
- ・観光施策について
- ・ゼロカーボンシティとSDGs17の目標達成の取り組みについて
- ・教育等について
- ・健幸都市たかはしについて
- ・川上地域の農業の持続的な管理運営について

伊藤泰樹

- ・自治体 DX の取り組みについて
- ・4 月以降の教育現場について
- ・交通安全について
- ・消防水利について
- ・童謡のまち高梁について

石井聡美

- ・ごみ問題について
- ・空き家について
- ・大型公共施設建設事業について
- ・令和5年度当初予算について

小林重樹

- ・日本遺産吹屋のこれからの戦略について
- ・移住・定住と人口問題について
- ・ベビーファーストの取り組みについて

石部 誠

- ・行政改革の取り組みについて
- ・公共施設の見直しについて
- ・ごみの減量化について
- ・ラ・フォーレ吹屋の指定管理について

川上修一

- ・防災ラジオについて
- ・森林環境譲与税について
- ・定住対策について

森 和之

- ・備中松山城と城下町の整備について
- ・高梁川水系中上流ブロック河川整備計画について
- ・ポケモンマンホール「ポケふた」について
- ・指定管理者制度の在り方について
- ・防犯カメラについて

市長の4期を振り返って

森上 子供に対する施策は手厚い施策が用意されているけれども、高齢者にとって置き去りにされているようなものもある。どのように考えるのか。

市長 高齢者施策のほうが多く予算を使ってる。総理の異次元の少子化対策も高齢者の対策、福祉施策には及ばない。市も、高齢者に対しての施策はしっかり取り組ませていただいているので議員が言うような認識はない。

森上 例えば買物に関して高齢者は買物難民という状況で細かいところで高齢者にもう一度施策を考え直すことが必要ではないかと思う。

市長 良い意味で高齢者にとっても

3件の大型プロジェクトの建設費が2倍になっているが見直しの検討をすべきではないか

新風の会 代表質問

森上昌生 議員

歩くということは非常に大事なことで。地域の支え合い、コミュニティの維持向上に向けて取り組みたい。

建設費が当初の計画のほぼ2倍

森上 大型プロジェクトの建設費が高騰している、当初の計画には予算的な必然性があつたはず。必要なものは必要だからという理由で見直しの検討なしに遂行することには問題はないのか。

市長 事業費が大幅に大きくなったのは、事実だ。合併特例債という有利な起債を使う。期限が令和6年度末なので、見直す時期を過ぎ財源の確保ができない。





子供たちに一番適した  
学習環境、学校の体制を

学校施設の適正配置について

**宮田** 教育委員会として学校施設の適正配置についてどう考えているのか。

**教育長** 現在の再編基準のままで非常に厳しい状況になっている。令和5年度に審議会を開催し、もう少し意図的計画的な統合を行政主導で提案していく。

高梁国際ホテルについて

**宮田** 400万円の高梁国際ホテルにかかる調査研究費の使途は。  
**副市長** 今後の経営形態や改修の方法等について調査研究し現経営者との合意形成を図りたい。

かけはし 代表質問

宮田 公人 議員



市長の市政運営方針について

**宮田** 市長のマニフェストに記載されている「箱物行政のツケがやってきています」という言葉をどう捉えているか。

**市長** 経営的な感覚は持ち続けなければならぬと考える。



定期的に歯科検診を受けることを  
推進すべきではないか

デジタル化の推進について

**川上** 総務文教委員会の管外行政視察で兵庫県三木市のデジタル化の推進について勉強し、書かせない窓口の導入で市民サービスの向上に努める先進的な取り組みに感銘を受けた。市民にデジタル化のメリットを実感できるよう「書かない窓口」を推進すべきではないか。

**政策監** 「書かない窓口」については、市役所窓口に来ていただいで面談するニーズはなくならないが、紙に書く手間を省き、申請手続きをタブレットなどで行うことはできると思うので、デジタル化を進め順次できるものから取り組んでいきたい。市としても支援の範囲や必要性を研究したい。

歯の健康について

**川上** 国民健康保険では歯科にかかる医療費が60歳以上から非常に増えている。オーラルフレイル（歯や口の些細な衰え）の段階で健康な口腔機能に戻すことが重要です。かかりつけ歯科医を持ち、症状が悪化する前から定期的に歯科検診を受けることを推進すべきではないか。

**市長** 自分の歯を維持していくのは非常に大事で、ひいては医療費を軽減することにつながる。データで明らかになっている。歯の健康についてさまざまな機会を通じて、かかりつけ歯科医を持ち定期歯科検診を行うことを推進していきたい。

川上 博司 議員



高梁市議会  
YouTube 公式チャンネル



## DXの取り組みは、どのような 市民サービスになるのか



平松 久幸 議員

### 公共工事の発注について

**平松** 成羽町に建設を予定しているオーダーメイド住宅は競争入札ではなく、なぜプロポーザル方式で発注を行うのか。

**副市長** プロポーザル方式は企画提案を評価し、内容、性能、価格等を勘案して業者を決定する。一般競争入札は工期が長くなる恐れもあり、請負金額にも反映される不具合も解消できる。

**平松** ゼッチ住宅は太陽光発電システムや断熱面でも高性能住宅でコストがかさむ。更に希望者とオーダーメイドの細かな打ち合わせが求められるが、管理が十分にできるのか。

**副市長** 明確な回答には時間がかかるが、ゼッチを組み入れた仕様書等により、設計施工業者にも伝えていく。

### DXの推進について

**平松** DXの取り組みにより、どのような市民サービスの向上になるのか。

**政策監** 行政内部の効率化はもとより、市民の方が高齢化になり移動が困難な中でも、スマホ等で、家に物が届く。市役所で「書かない窓口」等、手間が要らないというサービス向上がDXの導入の目的である。

**平松** 他自治体では高齢者向けにスマホ購入の際、補助金とセットで教室を開催している。検討が必要とを感じるがどうか。

**政策監** 令和4年度はスマホ教室を各所で開催している。継続的にやっていきたい。補助金については、必要に応じて研究していきたい。

## 3大プロジェクトの 総工費高騰の要因について



金尾 恭士 議員

### 3大プロジェクト (新消防庁舎・高梁認定こども 園・有漢義務教育学校) について

**金尾** 総工費を単純に計算すると当初の約35億円が約77億円に高騰している。要因は資材・工賃の高騰だけなのか。市民感覚とあまりにかけ離れた額だ。

**総務部長** 資材・人件費の高騰により、事業費が高騰した。予定どおり執行したい。

### 「川の駅」について

**金尾** 「川の駅」について新聞・テレビで耳にすることが多い。いつ具現化されるのか。

**政策監** 明治大学からの提案を受けた段階だ。何も決まっていない。民間か市かということについても

### 検討していきたい。

### CO2排出量の計算について

**金尾** 第2次高梁市環境基本計画には、高梁地域の1年間のCO2排出量は約31万3940トンとある。市役所職員の研修会で示された資料の試算は約80万トンとある。排出量計算の違いを今後計画にどのように反映するのか。

**政策監** 第2次高梁市環境基本計画は日本全体の排出量を世帯数等で分配して算出、研修資料は岡山県全体の排出量から分配して算出したもので必要に応じて精査していく。

**金尾** 基本の数字を精査しなければ計画を立てても絵にかいた餅になってしまう。



専門的技術・知見を有する  
職員の採用・育成を

4月以降の  
教育現場について

**伊藤** 4月以降の学校行事について、保護者や地域の方に公開する形に戻して頂きたい。

**教育長** 学校をもっと公開して、そして子供達や教職員が視野を広げて、しっかりと地域の中の学校として開けた学校としてあるべきであろうと考えています。

交通安全について

**伊藤** 4月の道路交通法の改正に伴う公用自転車ヘルメット着用はどう対応するのか。

**総務部長** 法令に基づいて適正に対応します。

**伊藤** 教育現場においてはどのように取り組まれるのか。

**教育長** 文書等あるいはPTAのさ

伊藤 泰樹 議員



さまざまな取り組み等の中で家庭にも周知し、家庭と協力して安全な乗車になる協力体制をつくりたい。

消防水利について

**伊藤** 成羽町下原の有用な自然水利につながる下原東遊園地跡が現状復旧に至っていないが。

**副市長** 県と調整して地域の方の安心・安全のために努力して参りたい。

童謡のまち高梁について

**伊藤** 後方支援ではなく、横に立って一緒に盛り上げていくことが必要ではないか。

**教育次長** 公民館活動同様に、自主的、主体的に、頑張ってもらいたい。

増え続ける家庭ごみの削減を！

ごみの減量について

**石井** 高梁市ではごみの排出量、リサイクル率、最終処分量などの全てが類似団体の平均値に届いておらず、成績がよくない。しかし総合計画の中では、ごみ政策は市民アンケートで満足度が高くなっている。おかしくはないか。

**市民生活部長** 市民の方がどういう気持ちで答えられたのか把握はできないが、現実としてごみが減っていないという状況である。

積極的な資源回収を

**石井** ごみ処理にかかる金額は年々増加している。ごみ減量のための施策が必要。公共施設に資源回収ボックスを設置することはできないか。

石井 聡美 議員



**市民生活部長** 現在、廃蛍光管の回収ボックスを置いている。今後、例えばリチウムイオン電池等について検討していく。

段ボールコンポストの普及促進を

**石井** 高梁市のごみ処理計画では、段ボールコンポストを普及促進中と書いてあるが、実際にはしていない。推進すべきではないか。

**市民生活部長** 段ボールコンポストは比較的安価で非常に有効だと思っている。分別学習等さまざまな機会でも推進していきたい。

## 本市の主要な取り組みについて

### 日本遺産吹屋の これからの戦略について

**小林** グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。  
**産業経済部長** 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザへ備中高梁駅へ吹屋へ新見駅まで運行する。

### 移住・定住と 人口問題について

**小林** 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにするべきではないか。

**市長** 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

小林 重樹 議員



育て、農業、都市整備のことなど子育てに関するあらゆる情報を政策監が一元的に管理して次のステップにつなげていく。そういう仕組みをつくっていききたいと考えている。

### ベビーファーストの 取り組みについて

**小林** ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。

**市長** 理念の中心は、やはり赤ちゃんだと思う。この地域において赤ちゃんをしっかりと育てていく。そのために子育てに関する支援施策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思う。

## 行政改革は市民合意に、 基づいて行うべき

### 大型公共事業の見直しを

**石部** 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

**総務部長** 有利な財源を活用するには期限が切られており、トータルで考えれば市民の利益になる。

### 公共施設は閉鎖をすべきでない

**石部** 地域の公共施設を閉鎖するなら市民合意が必要ではないか。

**総務部長** 引き続き地元で維持管理されるなら活用いただける。

**石部** 維持管理について地元負担を求めるのか。

**総務部長** 市民サービスを維持しながらコスト削減に努め、生み出した財源を未来への投資に使っていく。

石部 誠 議員



### ごみ収集の有料化について

**石部** そもそもごみの収集と処理は誰が行うのか。他自治体の実態を見ても、有料化がごみ削減に結び付いていないが。

**市民生活部長** ごみ処理は市町村に課された仕事である。有料化は一つのインセンティブになると考えている。

### ラ・フォーレ吹屋について

**石部** 指定管理の前任者が破産されるなど混乱が生じている。原因と今後の運営は。

**産業経済部長** 指定管理協定に基づき、コミュニケーションを図りながら進めていく。新指定管理者は開館に向けて一生懸命取り組まれている。



# 森林環境譲与税は何に使うのか？

川上修一 議員



## 防災ラジオの要項について

**川上** 災害時に持ち運びができ、市民の心の支えになっている防災ラジオを市はどのように評価しているのか。

**政策監** 若者たちは、携帯メールやSNSで災害情報を得ているが、スマートフォンを使いこなせない人達にとっては防災ラジオは有効だと思っている。

**川上** 要項では防災ラジオの最初の1台は貸与しているが、管理について故意過失全て責任を負うのか。市民は重い責任を負うのではないか。

**政策監** 管理にあつての故意過失についてはケースバイケースの対応が想定されるので、ケースごとに丁寧に確認させていただく。

## 川上 防災ラジオでの慶弔放送はどのように考えているのか

**政策監** 慶弔放送は地域に必要な放送が、地域の中で調整を行っていただきたい。

## 森林環境譲与税について

**川上** 森林環境譲与税は答弁と違っているがこの点について問う

**副市長** 森林環境譲与税発足当時は間伐などの森林整備に必要な財源として進んでおり、議員のおっしゃるとおり当時そのように申し上げた。国では段階的に制度を緩和しており、市としても国の考え方に沿って実証しているということとご理解いただきたい。

**川上** 変更があつたのであれば、当然議会との協議が必要であり、そのことを強く申し添えておく。

# コツコツと粘り強く城下町の整備を

森 和之 議員



## 備中松山城と城下町の整備について

**森** 老朽化が進む紺屋川沿いの桜並木をどうするのか。

**産業経済部長** 今後どういった品種を植えるか。通りをどのように整備するか。地域の方としっかりと協議していく。

## 高梁川水系中上流ブロック河川整備計画について

**森** 被害があつた場所の整備だけでなく、被害が想定される場所の整備も必要だと考えるがどうか。

**市長** 特に弱いと思われる河川要望箇所を重点的に、他の制度を使つても整備を行つてほしいと引き続き県に対してしっかりと申

し入れをしていく。その上で地域の皆様に安全、安心を届けなければならぬと思っている。

## ポケモンマンホール「ポケふた」について

**森** 観光振興を進める自治体に無償で提供される「ポケふた」に高梁市は応募すべきではないか。

**市長** 現在は募集停止になっているが、折を見て吹屋にリアルポケストップが設置されたことのお礼を含め、株式会社ポケモンと話をさせていただける機会を設けるように努力する。それが私の役目だと思っている。



◀ポケモンマンホール（ポケふた）

## 6月の定例会スケジュール

|     |   |            |
|-----|---|------------|
| 6/9 | 金 | 本会議（議案の上程） |
| 16  | 金 | 本会議（一般質問）  |
| 19  | 月 | 本会議（一般質問）  |
| 20  | 火 | 本会議（一般質問）  |
| 22  | 木 | 本会議（議案質疑）  |
| 23  | 金 | 委員会        |
| 26  | 月 | 委員会        |
| 27  | 火 | 委員会        |
| 30  | 金 | 本会議（採決）    |

※6月定例会への請願・陳情の締め切りは6月1日(木)までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

## 政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



## 編 集

|       |       |         |         |         |       |         |       |
|-------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|-------|
| 委 員   | 委 員   | 委 員     | 委 員     | 委 員     | 委 員   | 副委員長    | 委員長   |
| 平 久 幸 | 新 倉 淳 | 伊 藤 泰 樹 | 森 上 昌 生 | 石 井 聡 美 | 石 部 誠 | 金 尾 恭 士 | 森 和 之 |

議会広報公聴特別委員会



穴井手

## 新 高梁 人名録

おびや ぜんきゅう  
**帯屋 全久** 氏  
(不詳 ~ 1700)

「コロナ禍以前、成羽小学校運動会の最後のプログラムと言えは踊りがありました。そこで踊られていたのが、全久踊りとちよんがり踊りでした。その全久が人名だということを知らない方が地元でも少なくないと思われます。」

帯屋全久の出生は分かりませんが、名は太兵衛といい、当時古町桜丁にあった吉田屋という雑貨店で丁稚奉公をし、後にのれん分けをしてもらい帯屋として店を構え繁盛させ、その後には酒造業を営みました。莫大な資産をつくった全久は、1680年に八幡神社へ石灯籠を寄進したり、1688年に源樹寺本堂の改築に尽力しました。

また、全久は古町一帯のかんが

い用水の恩人と言われています。

古町郷では、枝中渡の辺りで島木川に突出した岩石のため用水を引くことができ

ませんでしたが、全久は私財を投じ、岩石をくりぬいて安全な用水路を完成させ、これによって水不足を解消されました。この用水は「穴井手」と呼ばれ、現在も水を満々と湛え流れ続けています。全久の功績は極めて高く、死後、農民達は、感謝の意を込めて供養のため命日には全久の屋敷跡で踊り冥福を祈ったのが全久踊りであり、現在まで伝承されています。

出典「成羽町史」、「源樹寺資料」



源樹寺

## 今号の 表紙

高梁城南高等学校

本校は平成16年春に高梁城南高等学校として生まれ変わり、今年で19年目を迎えました。電気科・デザイン科・環境科学科の3つの専門学科が地域の中で学ぶ学校として、体験や実習を重視した学習を行っています。教科書では学べないことも肌で感じ、仲間と切磋琢磨しています。



## あ と が き

新緑の美しい時節となりました。この時節の青い空には、元気に泳ぐ鯉のぼりに思いをはせる方は多いと思います。

しかし、最近鯉のぼりが見られなくなったと感じています。住宅事情等で減少しているかとも思われますが、やはり大きな要因は少子化であると思います。

国が新設したことも家庭庁にも期待しますが、「子育てするなら高梁市」本市の施策もより手厚いものとする必要性を感じています。

(新倉 淳)

